

## 第5回綾部市振興計画審議会 議事録

日 時：令和3年1月18日（月）午後1時30分～午後2時15分

場 所：綾部市I・Tビル2階多目的ホール

出席委員：青松高成委員、朝倉正道委員、今村博樹委員、上原直人委員、大貝泰子委員、大島和代委員、大槻浩一委員、奥谷昭信委員、木下和美委員、久木和子委員、工忠照幸委員、小寺哲朗委員、迫沼満壽委員、佐々木敏子委員、塩田展康委員、大力浩二委員、高倉正明委員、高橋秀文委員、田中重春委員、田中丈夫委員、谷口知弘委員、角山宏委員、西田昌一委員、林多嘉子委員、平野正明委員、前田道子委員、森貢委員、山口剛委員、渡邊哲夫委員

欠席委員：齋藤信吾委員、寺崎友芳委員、西村憲一委員、波多野隆史委員、福井圭介委員

綾 部 市：山崎副市長、足立教育長、岩本市長公室長、吉田企画総務部長、吉田市民環境部長、大石福祉保健部長、上原農林商工部長、朝子定住交流部長、四方建設部長、上原消防長、四方上下水道部長、小林教育部長

事 務 局：企画政策課 東課長、村上課長補佐、鎌部課長補佐、上田主事、中村会計年度任用職員

傍 聴：なし

配付資料：【資料1】第6次綾部市総合計画について（答申）

【資料2-1】第6次綾部市総合計画（本編）

【資料2-2】第6次綾部市総合計画策定に係る意見に対する計画（案）修正内容一覧

【資料3】第4回綾部市振興計画審議会議事録

### 1 開会

#### ・会長あいさつ

年明けの忙しい中、ご出席に感謝をする。前回11月に第4回審議会開催後、12月に5回目開催の予定であったが、日程変更となり本日開催に至った。この間、年末年始を挟み令和3年を迎え、大雪も降り、コロナも第3次感染拡大で緊急事態宣言も発出されるなど、様々な状況変化があった。本日も会場を変え、可能な限り広い場所で感染拡大防止の観点の中で開催する。また、できる限りスムーズに会議を進行していきたいので、ご協力をお願いしたい。

### 2 協議事項

#### ・第4回振興計画審議会の追加意見等について

会 長：前回議論した産業、計画の章について、何か追加で発言等があればお願いしたい。

委 員：1点要望がある。第5次総合計画では、高齢者の福祉の推進という項目で「老人クラブ」という名前の記載があったが、今回の第6次では、資料編には記載があるが本編からは消されている。市や府の助成を受けながら高齢者の仲間づくり、健康づくりに尽力している中で名前がないということは寂しい。本編にも掲載をお願いしたい。

担当部長：本編では、主な事業として抜粋して掲載をしているが、委員からあったとおり老人クラブというのは、高齢者の社会参加という面では大変大きな役割を果たしており、本編への掲載

も検討していきたい。

会 長：私からも、本日の意見について掲載する方向で検討することをお願いしたい。

#### ・第6次綾部市総合計画（答申案）について

資料に関して事務局から説明。各委員からの意見は以下の通り。

会 長：答申案について説明いただいた。この内容についてご質問、ご意見あればお願いしたい。

委 員：計画の基本となる「一人ひとりの幸せをみんなで紡いで実現できるまち」という将来都市像について、実現に向けたキーワードでも、Uターンに関しても広く市民に知ってもらうなど、綾部市から市民に対して情報を発信していく、何かを伝えることは記載があるが、本当に一人ひとりの夢を叶えるのであれば声なき声のような小さい声を市が拾うということをもっと強く示したほうが良いのではないかと。例えば、「一人ひとりの夢や希望を実現できるよう」という箇所を「一人ひとりの小さな声を聴く努力を続け、夢や希望を実現できるようにしていく」といった聴く耳がある、様々な声を聴いていくということをどこかに入れていただきたい。市民に知ってもらうだけではなく、コロナの影響で以前のアンケートとは状況が変化したり、市民のニーズが変化したりする中で、知ってもらうばかりで市民の声を聴かないのでは、一人ひとりの夢は叶わないのではないかと危惧している。小さい声を聴いていくということを基本計画の中で言及していただきたい。

会 長：記載する場所としては、方針の最初の文章のどこかにということか。

委 員：構想2の「Uターン就職者を増やすため～」の部分か、可能ならば「将来都市像実現に向けたキーワード」にも記載をしていただきたい。

会 長：例えば構想3で「市民と市民、市民と行政が、お互いに顔の見える関係を築くことが～」とあるがこの中に記載するのは如何か。

委 員：「顔」だけではなく「声」を聴いてほしい。なかなか言いづらいことがある。様々な手法を用いなければ声を聴くことは難しい。大きいこうした会議の場では本音は言いにくい。更にコロナの影響で市民の声も変質しており、拾いきれていないのではないかと感じる。

担当部長：綾部市の行政の推進は「医・職・住・教育・情報発信」で、情報発信の中には「広報・広聴の強化」も含まれる。今回の計画の中でも市民参画の機会の拡大という中で、このように委員の声を伺ったり、アンケート調査等で意見を伺う機会をさらに増やしていったりという取組も記載をしている。貴重なご意見を、答申の中でどのような形で反映させていくか検討をしていきたい。

委 員：将来都市像の「みんな紡いで」という箇所に関連して、第1回の審議会でも、私は「みんなで紡ぐ」の「みんな」とは誰のことか、また「どのようなプロセスで」ということを明記したほうが良いのではと意見を述べた。この「みんなで紡いで」という言葉が実現に向けた方法やプロセスを協働で進めていく、ということ表現しているのではないかと考える。協働で進めていくためには、行政側・市民側双方が意識を変えなければ難しい。今以上に知識や技術を身につけなければ、非常に難しいと考える。職員の能力を高め、市民の市民力を育てていくような施策が今後とても重要となる。今回の基本計画や答申の中にも、協働のプロセスを充実させるための職員の能力向上、市民の市民力を育てる取組等、違う表現でも構わないので、何らかの形で加えていただきたい。

担当部長：協働については、基本目標「自治を高め心のつながりのあるまち」において、市民活動の促進と地域の活性化等、協働の大切さを謳っている。綾部市もその点について非常に重要と考えている。第6次の計画でも十分に推進していきたいと考えている。

会 長：今の意見についても再度検討していく。他にあるか。どの分野でも構わない。

会 長：他になれば意見をいただいた部分は検討するとして、他の箇所はこれでよろしいか。申し訳ないがよければ挙手をお願いしたい。

一 同：一同挙手

会 長：ありがとうございます。それでは答申案についてはこの2点の修正を加えるということにしたい。なお、本日欠席の委員にも別途意見照会をしているため、その結果を取りまとめ、自身と職務代理、それから事務局で修正するというで一任いただきたい。

一 同：異議なし。

会 長：ありがとうございます。それでは最終的な答申案については自身と職務代理、それから事務局で十分に協議をし、取りまとめたい。その後、22日に市長に答申を行う予定である。

#### ・第6次綾部市総合計画（修正案）について

資料に関して事務局から説明。各委員からの意見は以下の通り。

会 長：修正案について説明いただいた。この内容等についてご質問、ご意見あればお願いしたい。

会 長：意見は特にないようであるが、これが最終案ということで、事務局よろしいか。

事務局：今後総合計画については、議会で議決いただいて、最終決定となる。今回の審議会の他にも、議会の特別委員会でも審議いただいており、また、パブリックコメントで市民からの意見もいただいており、そうした内容を反映・修正し、最終案として議会に上程する。

会 長：審議会としては、修正いただいた赤字の部分が本審議会としての意見で、答申と含めて審議会としては最終案となるが、議会の議決が必要なため、その過程で一部文章等が変更になる可能性があることはご了解いただきたい。本審議会においては、本日を含め5回議論いただいたが、赤字修正後の内容を振興計画審議会の最終案とするということでよろしいか。よろしければ挙手をお願いしたい。

一 同：一同挙手

会 長：賛同いただいた。この内容で審議会としては最終案とし、先ほどの答申案についても市長に提出する。本日の議論は以上となるが、本審議会に関して何か言い残したことがあればお願いしたい。

会 長：それでは、本日予定していた審議は以上であり、これをもって会議を終了とする。

### 3 閉会

#### ・副市長あいさつ

以上